

平成 29 年度事業報告

平成 29 年度、国の積極的な景気対策により、我が国の景気は、緩やかな回復基調が続いてきたが、地方においては依然として厳しい状況が続いている。

このような中で、当センターは受注の増加に向け、就業開拓専門の職員を配置し、就業開拓を行った。また、行政等への発注の働きかけ、就業開拓用チラシなどの全戸配布等による潜在需要の掘り起こしなどの取組みを行った。

その結果、当センターの平成 29 年度事業実績は、受託件数においては昨年と同数であったが、契約額では 4.8%の減となった。その主な原因は、民間事業所全般の就業延人員数の減少によるものである。

次に、地域貢献活動については、沼津御用邸記念公園、戸田中央棧橋・ゆめとびら舟山の清掃、高橋川堤防の草刈り及び御用邸記念公園内の花苗管理などのボランティア活動を実施、多くの会員の参加を得るとともに、広報、新聞、テレビなどのメディアに情報提供し、広くセンター事業の存在をアピールした。

課題であった就業の公平・適正化については、特定の業務における就業交代を引き続き実施し、適正化については、就業先との協調による就業時間並びに就業形態の改善などにつとめ、適正化を推進した。

安全就業対策は、無事故を目指し事故撲滅月間を設け、チラシによる会員への周知や、就業現場の安全点検を実施するとともに、事故報告に基づく分析、再発防止対策の検討などを行った結果、傷害事故・損害賠償事故の発生件数は、前年度に比較し大幅に減少した。

会員の研修については、親切、丁寧な就業を常態化させるため、専門講師による会員研修を実施し、技能の取得、向上については、草刈機特別講習、沼津垣製作、植木剪定及び福祉・家事援助などの研修を実施した。

会員の地域組織活動については、会員同士の交流や親睦のための地区懇談会が開催され、職群班活動については、各グループ毎、安全就業マニュアルの確認、機具操作の点検等が行われ、組織の充実が図られた。

しかしながら、地域組織活動の実施状況が減少傾向にあることは、今後の課題である。

会員の福利厚生については、例年どおり、日帰りバス旅行、ウォーキング大会、ぬまづシルバーまつり等を実施し、会員の交流や親睦を深めた。

事業実施状況については、受託件数は3,550件で、前年度と同数であった。

会員数は、1,194人、このうち就業人員は951人で就業率は79.6パーセント、就業延日人員は、前年度より3,508日人減少して107,903日人となった。

契約金額は、5億786万円で、前年度と比較し2,551万円の減、公共事業、民間事業別の契約金額では、公共事業が9,960万円で1.8パーセントの増、民間事業が4億826万円で6.3パーセントの減となった。

なお、静岡県シルバー人材センター連合会が事業主体となって実施するシルバー派遣事業の沼津市事務所の事業実績は、契約額1,627万円で、前年度と比較し27万円、1.7パーセントの増となった。

会員登録の状況は、入会者119人、退会者110人で年度末の会員数は、1,194人となり前年度と比べ9人増加した。